

千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.123

【発行】千葉県テレビ伝道協力会
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072
E-mail: info@chiba.life-line.tv
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>
郵便振替: 00110 - 8 - 579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-1 OCCビル
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650
E-mail: mail@pba-net.com
ホームページ <http://www.pba-net.com>
でんわ世の光 03-3291-9061

「恵みのわざとしてのライフ・ライン」

千葉県テレビ伝道協力会事務局長、OMF ザ・チャペル・オブ・アドレージョン 牧師 池田創造

先日のライフ・ラインでは二週にわたり、北海道十勝中札内村の“ぷりすか”というカフェで働くクリスチャンが取り上げられました。店主の馬淵さんは私の父の元同僚であり、帰省の際にはカフェに隣接されているご自宅での礼拝に家族で参加したこともあります。一生懸命パン作りをしながら証をする馬淵さんや主を礼拝する方々を見て、この小さな村にも主の御手が確実に差し伸べられていることを改めて知り、心から感謝しました。ライフ・ラインは未信者に向けたキリスト教番組ですが、“救いをもたらすお方の証言者たち”の証は、私たちクリスチャンにとっても励みです。

マタイの福音書 8章 24節には「すると、見よ、湖に大暴風が起こって、舟は大波をかぶった。ところが、イエスは眠っておられた。」とあります。すべての人は二人乗りの手漕ぎボートを一生懸命漕いで生きています。嵐のときも、波に立ち向かい、必死になって試練を克服しようとします。クリスチャンも未信者も同じです。ただ、イエス様を知らずに生きる時、人は手漕ぎボートの周りに気を取られます。波の大きさを分析し、どのように舟を動かすか検討し、いつも周りを気にしながら自分の力を信じて漕ぎ続けます。それゆえ心身ともに疲れてしまいます。しかし、イエス様と共に生きる時、私たちは周りを気にするのではなく、正面で眠られるイエス様を見るよう奨められています。

私たちは、イエス様を見ながら舟を漕ぐクリスチャンの証言を見聞きするとき、証言者の信じる神様に会います。神様を礼拝するよう召されているすべての人が、どのように神様を礼拝したらよいのか、この世で普通に生きるクリスチャンを通して知れるのです。もし、“自分たちが真理を知り、相手は知らない”という上下関係いたら、伝道は進まないでしょう。私たちクリスチャンは、“この世の人々”と“教会の人々”を区別しすぎるがゆえに、知らないうちに壁を築きあげてしまいます。もちろん、「聖」ということばには「区別する」という意味があり、イエス様を信じる群れは聖なる国民として歩むよう召されています。しかし、クリスチャンも未信者も全能の神に愛されている人間であることについては区別がないのです。唯一の違いは、イエス様が共にいてくださることを感謝して生きているか、いないかです。クリスチャンが恵みのわざに加えられている喜びをもって、会社で、地域で、学校で、“礼拝をささげる”“教会を建て上げて行く”“神様の支配を認めて生きて行く”ことが、キリストの香りを放つことにつながっていくのです。

どのような嵐の時も私たちは眠られるイエス様をしっかりと見つめる者になりたいと願います。クリスマス時期、まことの救い主として罪人のために来られた主に、すべての人の目が注がれることを願い、お祈りいたします。

お茶の間に福音！

毎週土曜朝7時は、**千葉テレビ「ライフ・ライン」**でお楽しみ下さい。